

令和8年6月16日公表

令和7年度 食料・農林水産業・農山漁村に関する意識・意向調査 農業支援サービスに関する意識・意向調査結果

- ・有償サービスを現在利用している農業者は全体の約3割。
- ・有償サービスを現在利用していない農業者のうち、今後利用する意向がある農業者は約3割。

本調査は、令和7年10月下旬から11月下旬にかけて、有償の農業支援サービス（以下「有償サービス」という。）に関する意識・意向に関して、認定農業者等がいる個人経営体の世帯主及び団体経営体の代表者である農業者20,000人を対象として実施し、11,147人から回答を得た結果である。

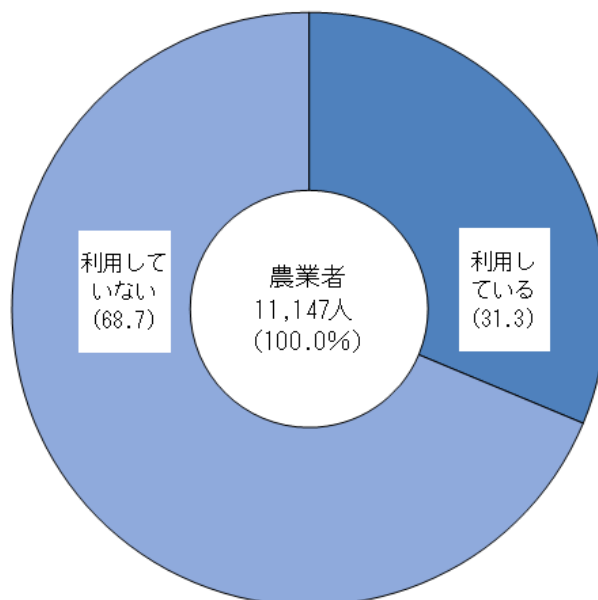
【調査結果】

I 農業者計

1 有償サービスの利用状況

有償サービスの利用状況については、「利用している」と回答した割合が31.3%、「利用していない」が68.7%であった。（詳細は、統計表の2参照）

図1 有償サービスの利用状況



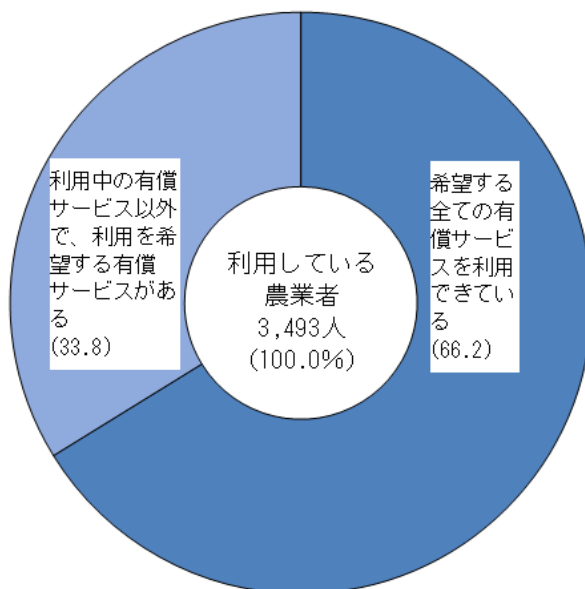
注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の計が100.0%とにならない場合がある（以下同じ。）。

農業支援サービスとは、不特定の農業者等に対して対価を得てサービスを提供することをいい、ドローン散布等の作業受託やデータ分析、農業機械のシェアリング、農業現場への人材供給等をいう。ただし、農産物の流通・販売に係るサービス（代理販売や共同出荷など）や税理士による青色申告等の会計業務、獣医師による受精を除く医療行為は含まない。
なお、本調査では過去1年間の販売金額1位の部門についての有償サービスを対象とする。

2 有償サービスの利用程度

1で「利用している」と回答した者について、希望する有償サービスをどの程度利用できているかをみると、「希望する全ての有償サービスを利用できている」と回答した割合が66.2%、「利用中の有償サービス以外で、利用を希望する有償サービスがある」が33.8%であった。（詳細は、統計表の7(2)参照）

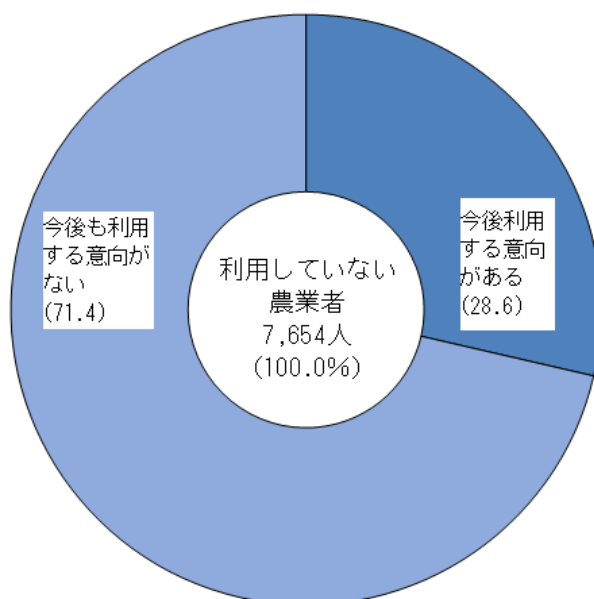
図2 有償サービスの利用程度



3 有償サービスを今後利用する意向

1で「利用していない」と回答した者について、有償サービスを今後利用する意向があるかをみると、「今後利用する意向がある」と回答した割合が28.6%、「今後も利用する意向がない」が71.4%であった。（詳細は、統計表の7(3)参照）

図3 有償サービスを今後利用する意向



II 有償サービスを利用している農業者

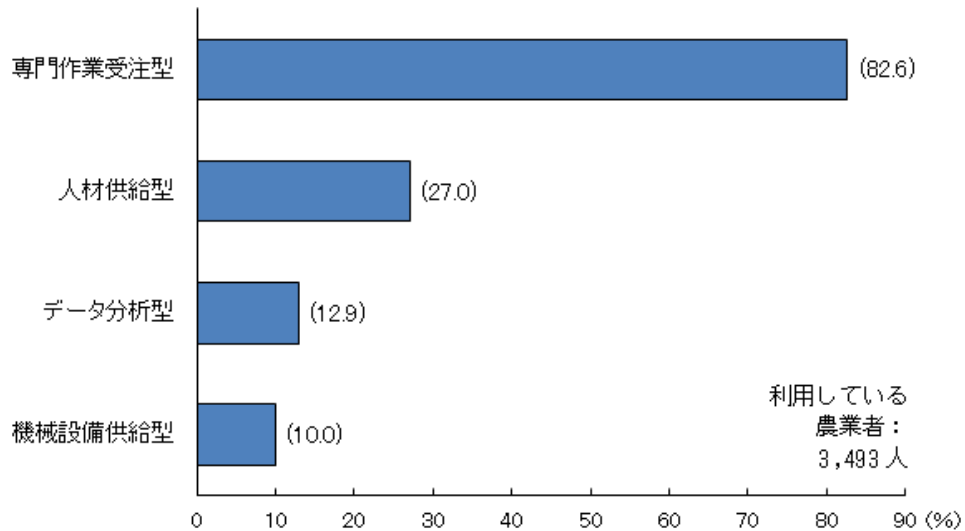
1 利用している有償サービス

Iの1で「利用している」と回答した者について、現在利用している有償サービスを4類型別(注)にみると、「専門作業受注型」と回答した割合が82.6%と最も高く、次いで「人材供給型」が27.0%、「データ分析型」が12.9%、「機械設備供給型」が10.0%の順であった。(詳細は、統計表の3(1)参照)

注： 4類型の詳細については、次のURLの「用語の解説」を参照(以下同じ。)

https://www.maff.go.jp/j/finding/mind/pdf/nougyou_shien_25.pdf

図4 利用している有償サービス(複数回答)



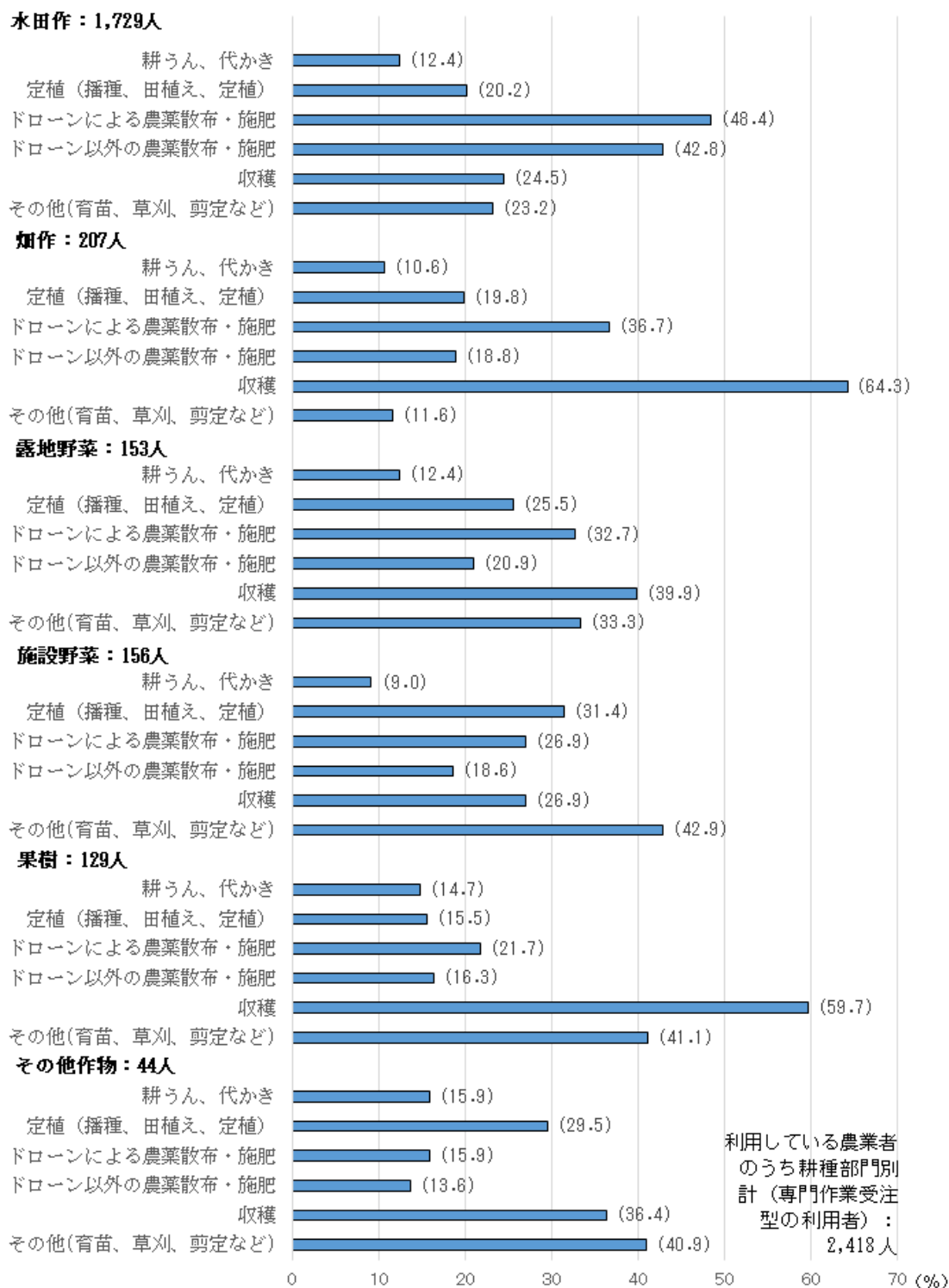
注:無回答については、図への掲載を省略している(以下同じ。)

2 具体的に利用している有償サービス（専門作業受注型）

1で最も利用している者の多かった「専門作業受注型」について、販売金額1位の耕種部門^(注)別に利用している有償サービスの内容をみると、水田作においては、「ドローンによる農薬散布・施肥」の割合が最も高く、畑作、露地野菜及び果樹においては、「収穫」の割合が最も高く、施設野菜及びその他作物においては、「その他（育苗、草刈、剪定など）」の割合が最も高かった。（詳細は、統計表の3(2)参照）

注：販売金額1位の耕種部門とは、本調査の間1において、過去1年間の販売金額が1位の部門として回答した水田作、畑作、露地野菜、施設野菜、果樹、その他作物経営をいう（以下同じ。）。

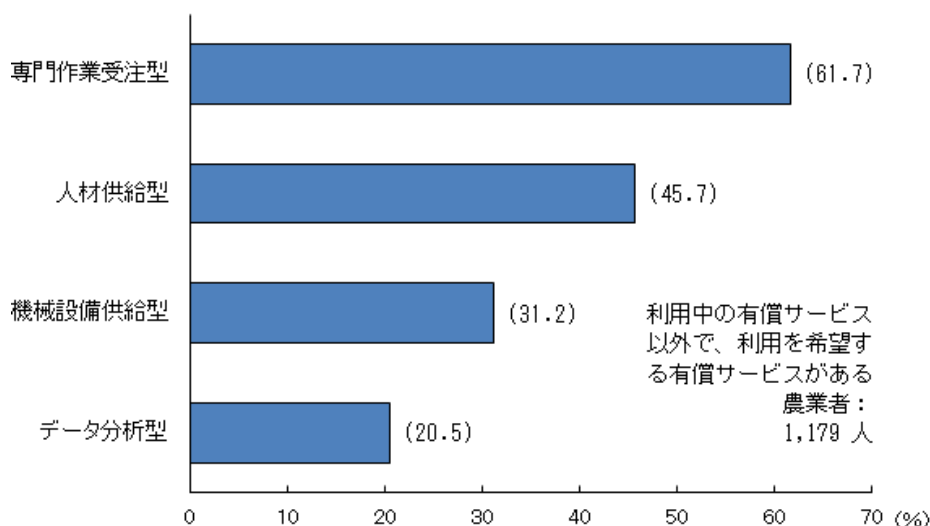
図5 具体的に利用している有償サービス（専門作業受注型）（複数回答）



3 利用中の有償サービス以外で、利用を希望する有償サービス

Iの2で「利用中の有償サービス以外で、利用を希望する有償サービスがある」と回答した者について、今後利用を希望する有償サービスを4類型別にみると、「専門作業受注型」と回答した割合が61.7%と最も高く、次いで「人材供給型」が45.7%、「機械設備供給型」が31.2%、「データ分析型」が20.5%の順であった。（詳細は、統計表の10(1)ア参照）

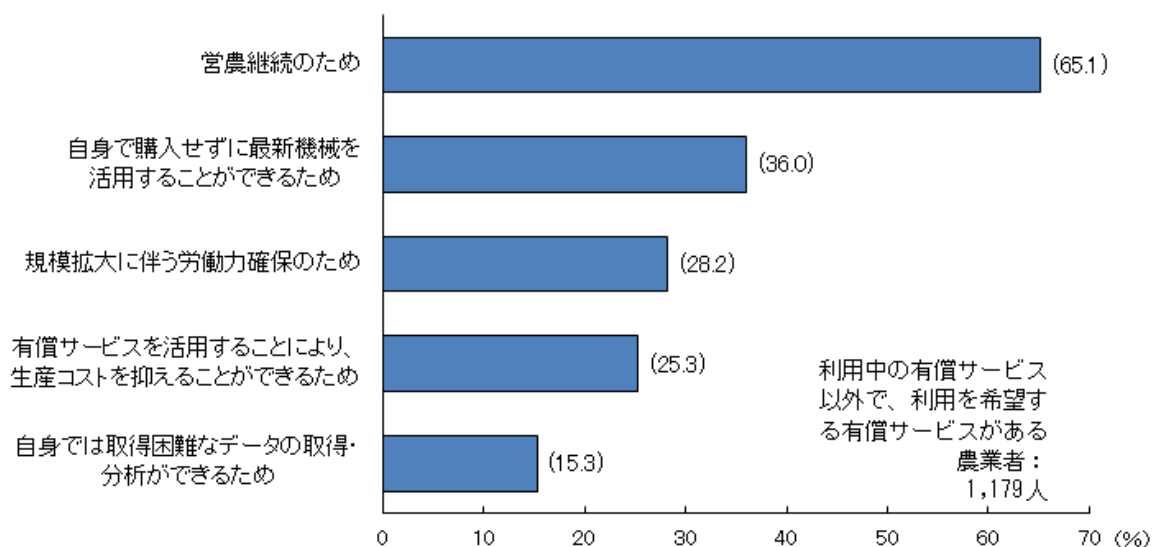
図6 今後利用を希望する有償サービス（複数回答）



4 利用中の有償サービス以外の有償サービスの利用を希望する理由

Iの2で「利用中の有償サービス以外で、利用を希望する有償サービスがある」と回答した者について、今後有償サービスの利用を希望する理由をみると、「営農継続のため」と回答した割合が65.1%と最も高く、次いで「自身で購入せずに最新機械を活用することができるため」が36.0%であった。（詳細は、統計表の8(1)参照）

図7 有償サービスを今後利用する意向がある理由（複数回答）

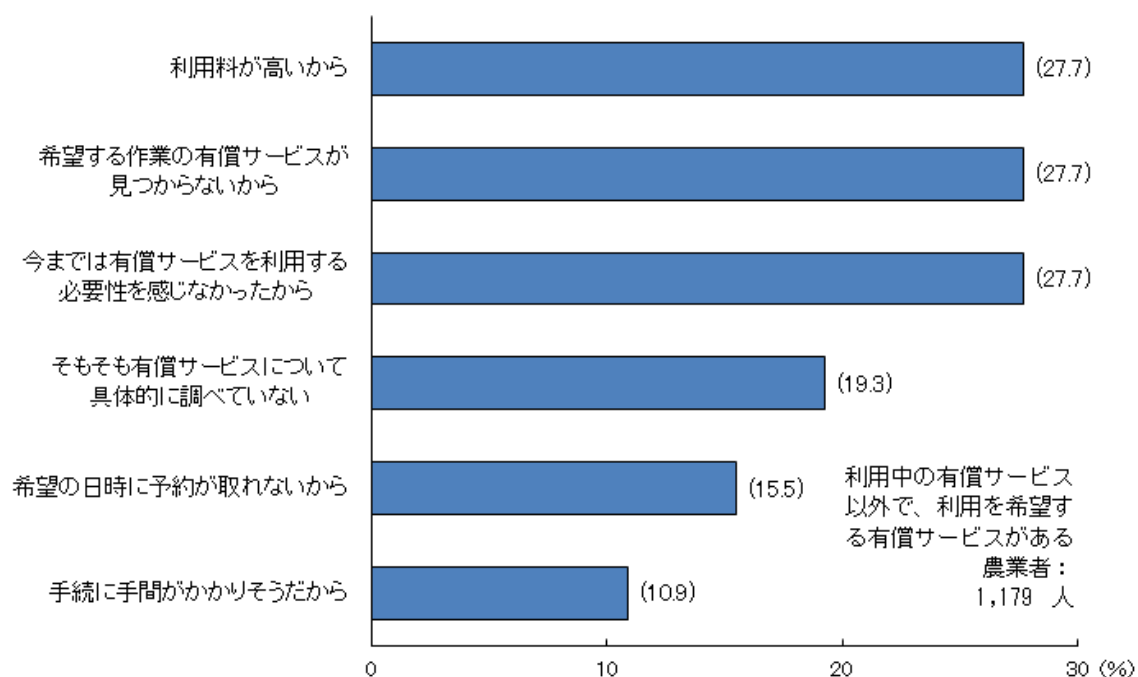


注：回答の割合が10.0%未満の回答については、図への掲載を省略している（以下同じ。）。

5 利用中の有償サービス以外で、利用を希望する有償サービスがあるものの現在利用していない理由

Iの2で「利用中の有償サービス以外で、利用を希望する有償サービスがある」と回答した者について、現在有償サービスを利用していない理由をみると、「利用料が高いから」、「希望する作業の有償サービスが見つからないから」及び「今までは有償サービスを利用する必要性を感じなかったから」と回答した割合がいずれも27.7%となり、次いで「そもそも有償サービスについて具体的に調べていない」が19.3%であった。（詳細は、統計表の9(1)参照）

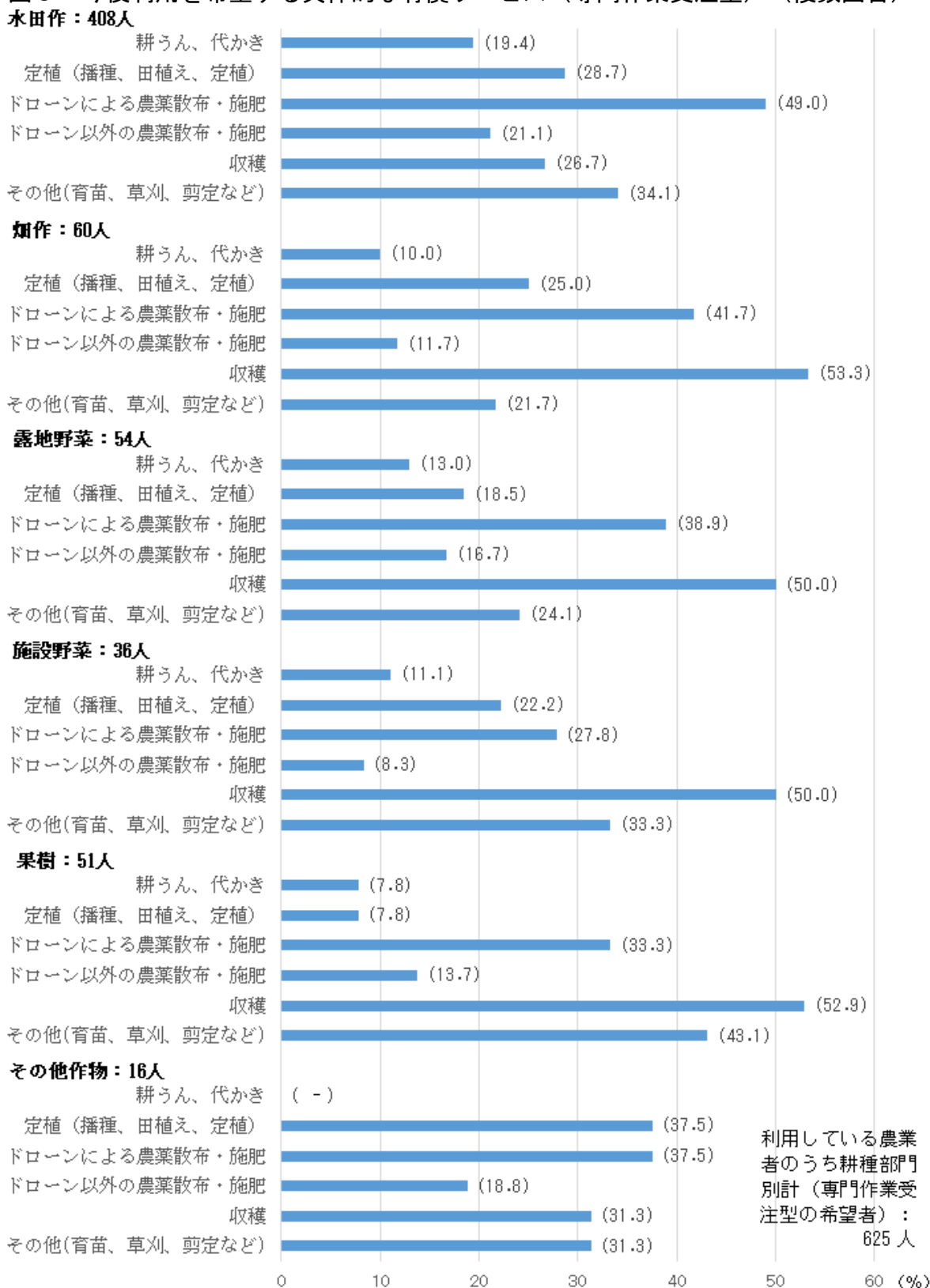
図8 有償サービスを今後利用する意向があるものの現在利用していない理由（複数回答）



6 利用中の有償サービス以外で、利用を希望する具体的な有償サービス（専門作業受注型）

3で今後最も利用を希望する者の多かった「専門作業受注型」について、販売金額1位の耕種部門別に今後利用を希望する有償サービスの具体的な内容をみると、水田作及びその他作物を除く全ての部門において、「収穫」と回答した割合が最も高かった。（詳細は、統計表の10(3)ア参照）

図9 今後利用を希望する具体的な有償サービス（専門作業受注型）（複数回答）

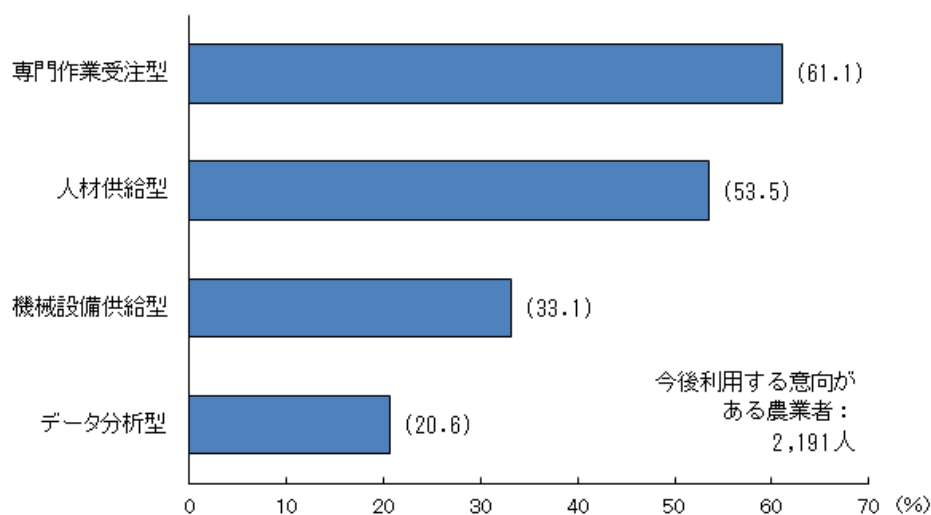


Ⅲ 有償サービスを利用していない農業者

1 今後利用する意向がある有償サービス

Iの3で「今後利用する意向がある」と回答した者について、今後利用を希望する有償サービスを4類型別にみると、「専門作業受注型」と回答した割合が61.1%と最も高く、次いで「人材供給型」が53.5%、「機械設備供給型」が33.1%、「データ分析型」が20.6%の順であった。（詳細は、統計表の10(1)イ参照）

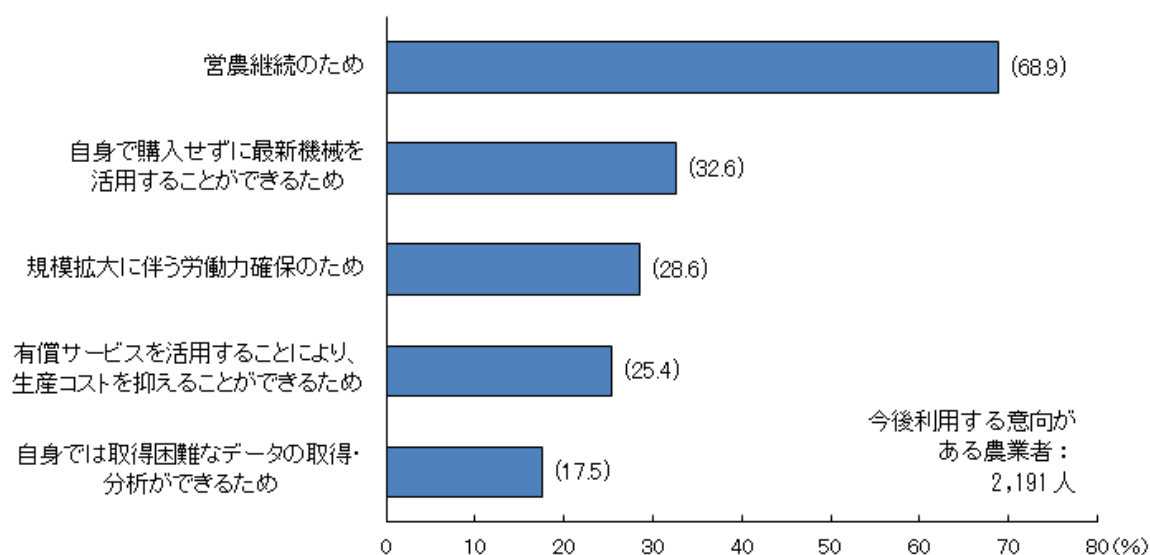
図10 今後利用する意向がある有償サービス
(複数回答)



2 今後有償サービスの利用を希望する理由

Iの3で「今後利用する意向がある」と回答した者について、今後有償サービスの利用を希望する理由をみると、「営農継続のため」と回答した割合が68.9%と最も高く、次いで「自身で購入せずに最新機械を活用することができるため」が32.6%であった。（詳細は、統計表の8(2)参照）

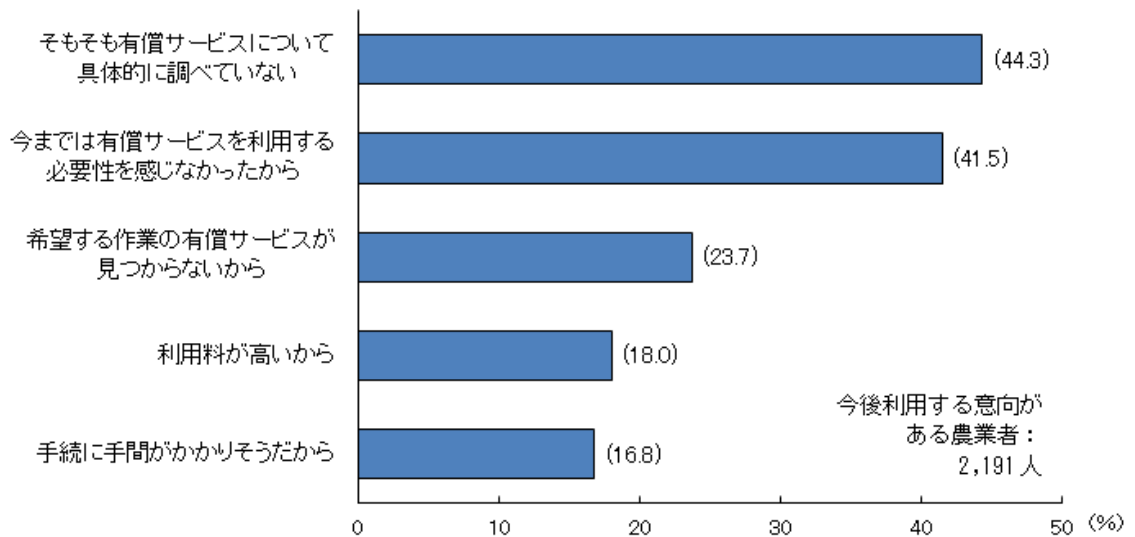
図11 有償サービスを今後利用する意向がある理由（複数回答）



3 有償サービスを今後利用する意向があるものの現在利用していない理由

Iの3で「今後利用する意向がある」と回答した者について、有償サービスを現在利用していない理由をみると、「そもそも有償サービスについて具体的に調べていない」と回答した割合が44.3%と最も高く、次いで「今までは有償サービスを利用する必要性を感じなかったから」が41.5%であった。（詳細は、統計表の9(2)参照）

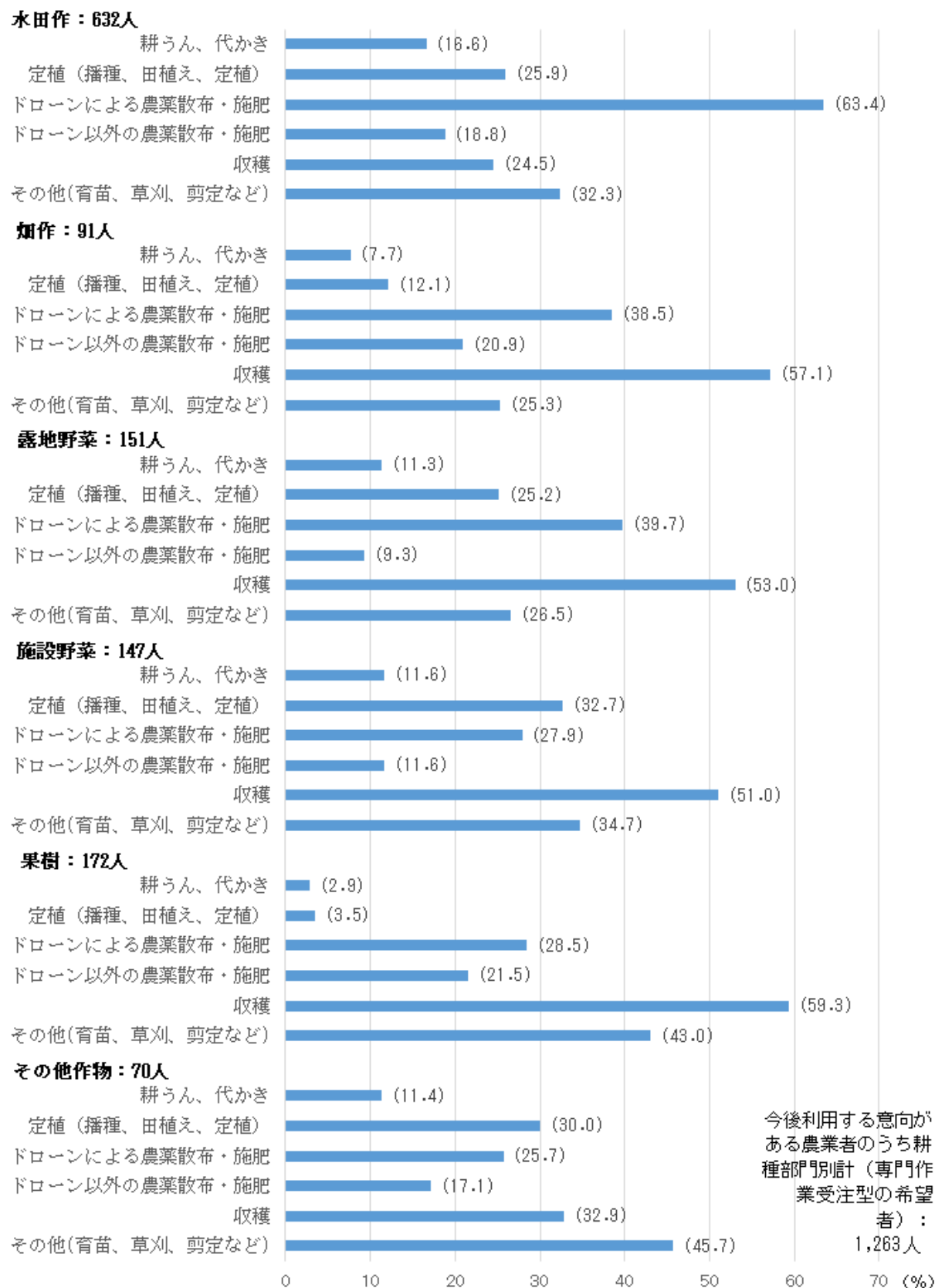
図12 有償サービスを今後利用する意向があるものの
現在利用していない理由（複数回答）



4 今後利用する意向がある具体的な有償サービス（専門作業受注型）

1で今後最も利用を希望する者の多かった「専門作業受注型」について、販売金額1位の耕種部門別に今後利用を希望する有償サービスの具体的な内容をみると、水田作及びその他作物を除く全ての部門において、「収穫」と回答した割合が最も高かった。（詳細は、統計表の10(3)イ参照）

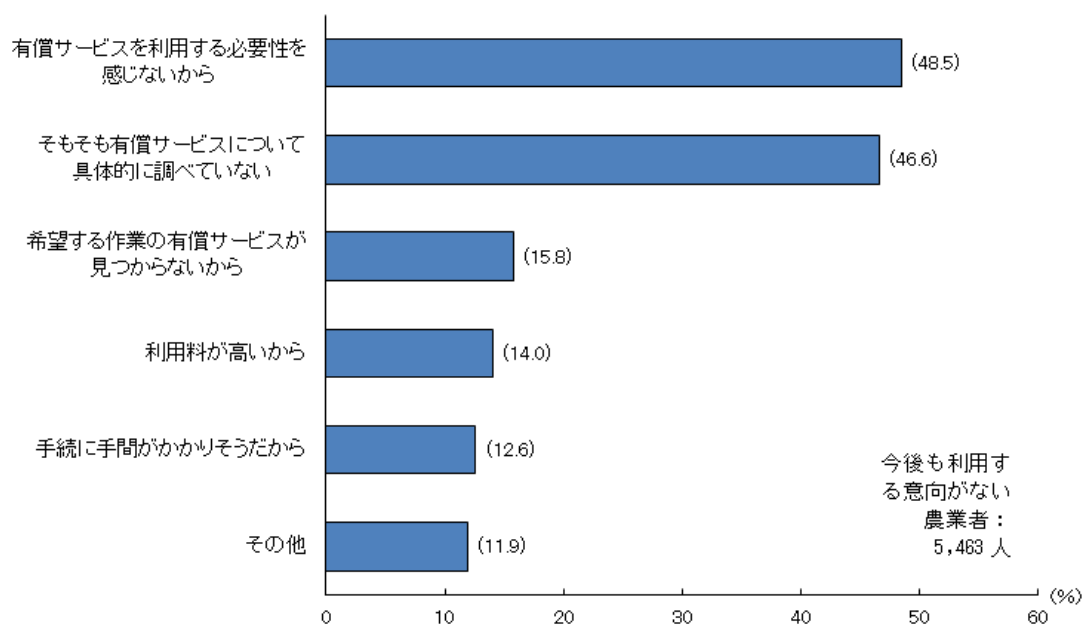
図13 今後利用する意向がある具体的な有償サービス（専門作業受注型）（複数回答）



5 有償サービスを現在利用しておらず、今後も利用する意向がない理由

Iの3で「今後も利用する意向がない」と回答した者について、利用を希望しない理由をみると、「有償サービスを利用する必要性を感じないから」と回答した割合が48.5%と最も高く、次いで「そもそも有償サービスについて具体的に調べていない」が46.6%、「希望する作業の有償サービスが見つからないから」が15.8%の順であった。（詳細は、統計表の11参照）

図14 有償サービスを利用する意向がない理由（複数回答）



【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040419927&ext=xls>

【調査の概要】

https://www.maff.go.jp/j/finding/mind/pdf/nougyou_shien_25.pdf

【ホームページ掲載案内】

本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「農林水産行政等に対する意識・意向調査」でご覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/j/finding/mind/>

【関連リンク】

農業支援サービス関係：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞農業支援サービス

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/service.html>

お問合せ先

◎本調査結果について

農林水産省 政策課技術政策室
技術調整班

電話：（代表）03-3502-8111 内線：3094
（直通）03-3502-5524

◎食料・農林水産業・農山漁村に関する意識・意向調査について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計解析班

電話：（代表）03-3502-8111 内線：3580
（直通）03-3502-5631

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線：3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データのカで。

農林水産統計

Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries